

大手予備校・河合塾が、学生に能動的な学習をさせるアクティブラーニングを、大学がどの程度導入しているのか調査した。調査を担当した谷口哲也・教育研究部統括チーフは、文系学部の取り組みの遅れを指摘する。



河合塾教育研究部統括チーフ 谷口哲也

近年の大学は「教員が何を教えたか」ではなく、「学生が何をできるようになったのか」が問われるようになった。「学習者中心の教育」を基準にした大学教育の質保証で、その鍵を握るのがアクティブラーニング(能動的な学習)である。

技能育成に効果

アクティブラーニングとは、授業者が一方的に知識伝達をする講義スタイルではなく、課題研究やPBL(プロジェクト)/プロブレム・ベースド・ラーニング)、ディスカッション、プレゼンテーションなど学生の能動的な学習を取り込んだ授業形態であり、知識の定着だけでなくスキル・態度などの汎用的技能(シブエネリック・スキル)の育成にも効果がある。河合塾は、4年間の大

主体的に学習「アクティブラーニング」 文系学部 取り組み遅れ

アクティブラーニング(AL)調査で高評価だった大学・学部・学科(a=進んでいる、b=やや進んでいる、c=普通)

評価の視点(本文参照)		I			
		一般的AL	高次のAL	II	III
大学(※は国立)	学部・学科				
金沢工業	電気電子/機械	a	a	a	a
秋田	機械	a	a	a	b
室蘭工業※	情報電子	a	a	a	b
新潟	機械システム	a	a	a	c
福岡工業	電気	a	b	c	a
岡山	機械	b	a	c	a
京都工芸繊維※	機械システム	a	b	b	b
宮崎	電気電子	a	b	b	b
九州工業※	機械知能	a	b	b	b
金沢	機械	b	a	c	b
秋田	電気電子	b	b	a	b
三重	電気電子	b	b	b	b
産業能率	経営	a	a	b	a
立教	経営	a	b	a	a
創価	経営	a	b	a	a
立命館	経営	a	b	b	b
宮崎産業経営	経営	a	b	b	b
流通科学	サービス産業	a	c	b	b
函館	商	b	a	b	c
創価	経営	b	b	a	b
東日本国際	経済情報	b	b	a	b
武蔵	経済	b	b	b	b

いが大きい。文系はフィールドワーク、プレゼンテーション、振り返りなど、どの程度導入されているかを聞いて調査を行った。工学部、理学部の数。

河合塾 大学教育力の指標に

学科・化学科(理学系)を対象を絞った。

調査は昨年6月、全国の経済系、法学部、工学系、理学系の学部長・学長に質問紙を送り、それぞれ151学部、57学部、111学科、32学科から回答を得た。質問紙では各学年のゼミ・演習・実験科目に、どのようなアクティブ項目(グループ学習、ディベート、

教育

「評価の視点I」は、この2つのアクティブラーニングの導入度とそれ

「評価の視点II」は、文系では卒論が選択制の大学が多いとは聞いていたが、法学部学生の半数以上が選択せず、入試偏差値が高い学部ほど割合が高いのは驚きだった。学習者中心の教育と質保証は表裏一体だ。アクティブラーニングの導入状況と、学習者中心の教育の定着には密接な関係があり、大学の教育力を評価する指標として今後注目のポイントだ。

「評価の視点III」は、保証は表裏一体だ。アクティブラーニングの導入状況と、学習者中心の教育の定着には密接な関係があり、大学の教育力を評価する指標として今後注目のポイントだ。

「知識と結合希薄」 「一般的アクティブラーニング」では、4年間を通じて導入状況に知識との結合が希薄である。基本的科目の半数以上で講義と演習・実験が有機的に連携しているかどうかを見た。工学系で特筆すべきは金沢工業大学「総合力」

「最大の関心事となる働き盛りの時期が訪れ、やがて「過去」が主たる話題となる年代に到達する。彼女が生涯学び続け、実りある人生を切り開いていくために、私たち大人は何ができるのか。改めて、教育の果たす重要性に思いをはせた。(玉川大学教授 小松郁夫)

各世代と触れ合い

最大の関心事となる働き盛りの時期が訪れ、やがて「過去」が主たる話題となる年代に到達する。彼女が生涯学び続け、実りある人生を切り開いていくために、私たち大人は何ができるのか。改めて、教育の果たす重要性に思いをはせた。(玉川大学教授 小松郁夫)